



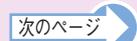
こんなことができます！ クラビノーバ + パソコン

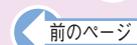


「クラビノーバとパソコンをつないで何ができるんだろう？」
「何が必要なんだろう？」 「どうやってつなぐんだろう？」
などの疑問にお答えします。
「クラビノーバ+パソコン」の世界にチャレンジしてみましょう。

- * 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- * このファイルに掲載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- * このファイルに掲載されているイラストは、接続説明のためのものです。クラビノーバのモデルによって異なる場合があります。

ページの切り替えかた

 をクリックすると1ページ進みます。

 をクリックすると1ページ戻ります。

各ページの下にあるタイトル名をクリックすると、そのページに移動します。

文書内でも、ポインターが「」の形になるところは、クリックするとリンク先に移動します。

MIDIってなに？	「MIDI」についてわかりやすく説明します。	2	ページ
クラビノーバ+パソコンでなにができるの？	どんなことができるのかを説明します。	3	ページ
どうやってつなぐの？	パソコン環境別の必要なものをつなぎかたを説明します。	4	ページ
わからない言葉があったらこちらへ	専門用語について説明します。	18	ページ
役立つインターネットホームページ	参考になるホームページを紹介します。	22	ページ
楽しさがひろがるソフトウェアの紹介	いろいろなソフトウェアを紹介します。	23	ページ

MIDIってなに？

パソコンをつないで楽しむ前に「MIDI」という言葉について理解しましょう。

「MIDI」という言葉はパソコンで音楽を楽しむときによく使われる言葉です。

パソコンで音楽を楽しむことをコンピューターミュージックといいます。
コンピューターミュージックを楽しむにはパソコンとクラビノーバのような楽器が必要となります。

たとえばパソコンをロシア人の音楽家、クラビノーバを日本人の音楽家とします。お互いに音楽の知識と才能を持っています。でも会話で情報を交換することは、話せる言葉の違いによりうまくいきません。考えた二人は英語を覚えることにしました。お互いに英語での会話により、情報交換が簡単にできるようになりました。ここで二人が覚えた「英語」を「MIDI」と考えてください。「MIDI」とは「コンピューターミュージック」を楽しむためにつながれた機器同士が、共通して理解できる「音楽情報を交換できる言葉（言語）」となります。クラビノーバとパソコンは、共通語＝MIDIを使うことで、データを送ったりもらったり、情報交換をすることができます。
「MIDI」とはクラビノーバとパソコンが共通して認識できる「音楽のデータ形式」のことなのです。

下記のページで「MIDI」についての関連情報をわかりやすく説明しています。

「初級みでい講座」

<http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/syokyu/index.html>

クラビノーバ+パソコンで何ができるの？

このページをご覧になっているかたは、すでにパソコンをお持ちでインターネットに接続できる環境をお持ちですね。そのパソコンとクラビノーバをつないでみませんか。

目的に応じたパソコン用音楽ソフトを使って、次のようなことができます。

- パソコン用レッスンソフトを使えば、好きな時間にご自分のペースで練習することができます。
ソフトのご紹介 ➡ [「これからはじめる大人のピアノ」](#)
- パソコン用音楽ソフトで作成した演奏データを、クラビノーバで自動演奏することができます。
ソフトのご紹介 ➡ [「SOL」](#)
- パソコン用音楽ソフトに演奏データを入力するマスターキーボードとして、クラビノーバを使うことができます。
ソフトのご紹介 ➡ [「SOL」](#)
- クラビノーバの演奏を、パソコン用音楽ソフトに記録することができます。
ソフトのご紹介 ➡ [「SOL」](#)

♪ クラビノーバを音源として使う場合、クラビノーバにない音色が使われている演奏データは、正しく再生されません。

どうやってつなぐの？

Step 1 どの端子を使うの？

クラビノーバとパソコンをつなぐには4つの方法があります。

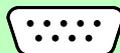
1 クラビノーバのTO HOST端子を使ってつなぐ

パソコンのシリアルポートとクラビノーバのTO HOST端子を直接つなぐ方法です。

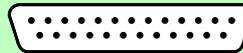
Windows

Windowsのシリアルポートは、パソコンの種類によって端子が異なります。
お持ちのパソコンのシリアル端子を確認してください。

D-SUB9ピンの場合



D-SUB25ピンの場合



Macintosh

Macintoshのモデムポート



2 クラビノーバのMIDI端子を使ってつなぐ

MIDIインターフェース機器を介して、パソコンのシリアルポートとクラビノーバのMIDI端子をつなぐ方法です。

MIDI端子

IN OUT.....



MIDI

3 パソコンのUSB端子を使ってつなぐ

USBインターフェース機器を介して、パソコンのUSB端子とクラビノーバのTO HOST端子またはMIDI端子をつなぐ方法です。シリアルポートが無く、USB端子しか持たないパソコンとUSB端子がないクラビノーバはこの方法でつなぎます。

パソコンのUSB端子



USB



クラビノーバのUSB端子



USB

4 クラビノーバのUSB端子を使ってつなぐ

パソコンのUSBポートとクラビノーバのUSB端子を直接つなぐ方法です。

Step 2 つなぐのに必要なもの

1 クラビノーバのTO HOST端子を使ってつなぐとき

必要なもの→ シリアルケーブル

パソコンの種類によってケーブルが異なります。

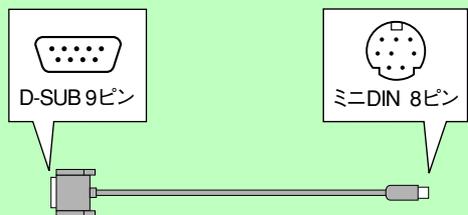
お持ちのパソコンにあった専用のケーブルを用意する必要があります。

ヤマハでは次の商品をご用意しています。

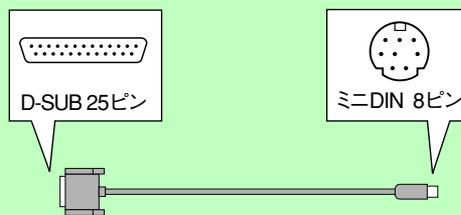
シリアルケーブル

Windows

シリアル端子がD-SUB9ピンの場合
「CCJ-PC2」税別価格：3,000円
または同等品



シリアル端子がD-SUB25ピンの場合
「CCJ-PC1NF」税別価格：3,000円
または同等品



Macintosh

「CCJ-MAC」
税別価格：2,000円
または同等品
* imacは接続できません。



主な「コンピューターミュージック商品を扱っているコンピューターショップ」、または主な「ヤマハ特約楽器店」でご購入ください。

2 クラビノーバのMIDI端子を使ってつなぐとき

必要なもの→ MIDIインターフェース機器・MIDIケーブル

ヤマハでは次の商品をご用意しています。

- YAMAHA MIDIケーブル 「MIDI01」長さ1 m、税別価格：800円
- 「MIDI03」長さ3 m、税別価格：1,100円
- 「MIDI15」長さ1.5 m、税別価格：3,000円

主な「コンピューターミュージック商品を扱っているコンピューターショップ」、または主な「ヤマハ特約楽器店」でご購入ください。

3 パソコンのUSB端子を使ってつなぐとき

必要なもの→ USBインターフェース機器・シリアルケーブル または MIDIケーブル

ヤマハでは次の商品をご用意しています。

- ヤマハUSB-MIDIインターフェース 「UX16」 税別価格：5,000円
- 「UX96」 税別価格：9,800円
- 「UX256」 税別価格：27,000円
- シリアルケーブル 「CCJ-MAC」 税別価格：2,000円 または同等品
- YAMAHA MIDIケーブル 「MIDI01」長さ1 m、税別価格：800円
- 「MIDI03」長さ3 m、税別価格：1,100円
- 「MIDI15」長さ1.5 m、税別価格：3,000円

主な「コンピューターミュージック商品を扱っているコンピューターショップ」、または主な「ヤマハ特約楽器店」でご購入ください。

4 クラビノーバのUSB端子を使ってつなぐとき

必要なもの→ USBケーブル

Step 3 つなぎましょう



つなぐときは、クラビノーバとパソコンの電源を切ってください。
電源を切った状態でケーブル接続、HOST SELECTスイッチの設定を行いません。
電源を入れるときは、パソコン→クラビノーバの順番で入れてください。

♪ クラビノーバとパソコンをつないで使用しない場合は、必ず【TO HOST】端子と【USB】端子からケーブルを抜いてください。

ケーブルを接続したままだと、クラビノーバが正常に動作しないことがあります。

♪ 接続後、正しく動作しない場合は、パソコンの電源が切れているか、ケーブルが正しく接続されていない、または、HOST SELECTスイッチが正しく設定されていないか、パソコン側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能していません。

この場合は、いったんクラビノーバとパソコンの電源を切り、ケーブルの接続、HOST SELECTスイッチの設定を確認してください。

その後、パソコン→クラビノーバの順番で電源を入れ直し、パソコン側のドライバーやMIDIアプリケーションが正しく機能しているか確認してください。

♪ HOST SELECTスイッチの設定によって、使える端子が異なります。

HOST SELECTスイッチの設定	使える端子
【MIDI】	【MIDI】端子（【IN】 【OUT】 【THRU】 共）
【PC-2】，【PC-1】，【Mac】	【TO HOST】端子
【USB】	【USB】端子

- 1 クラビノーバのTO HOST端子を使ってつなぐとき
接続方法の詳細はこちらをご覧ください。

- 2 クラビノーバのMIDI端子を使ってつなぐとき
接続方法の詳細はこちらをご覧ください。

- 3 パソコンのUSB端子を使ってつなぐとき
接続方法の詳細はこちらをご覧ください。

- 4 クラビノーバのUSB端子を使ってつなぐとき
接続方法の詳細はこちらをご覧ください。

接続方法の詳細

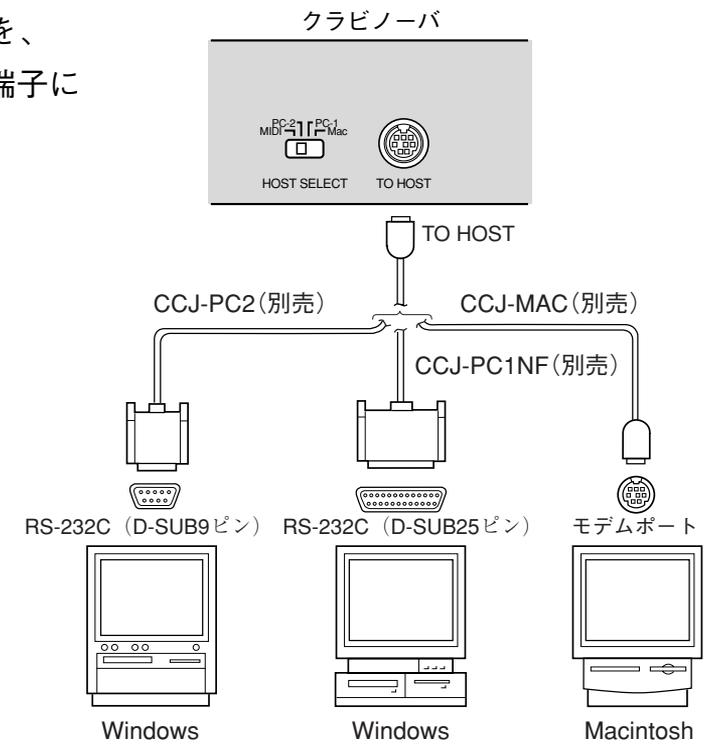
1 パソコンのシリアルポートと、クラビノーバの【TO HOST】端子を使った接続方法

パソコンのシリアルポート（RS-232C端子やRS-422端子）とクラビノーバの【TO HOST】端子を接続します。この方法では、クラビノーバがMIDIインターフェース機器（コンピューターとMIDI機器の仲立ちをする機器）の役割も果たすため、専用のMIDIインターフェース機器は不要です。

パソコンのシリアルポートでMIDIの情報を使用できるようにするために、あとでMIDIドライバーをパソコンにインストールする必要があります。[MIDIドライバーについてはこちらをご覧ください。](#)

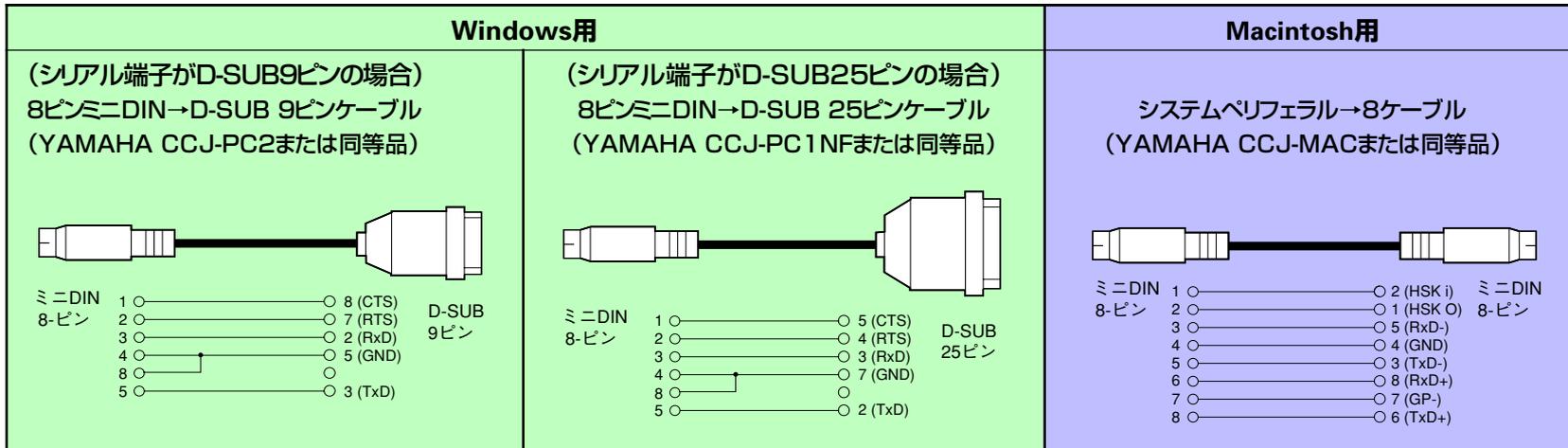
接続方法

パソコンのシリアルポート（RS-232C端子やRS-422端子）を、専用のシリアルケーブルで、クラビノーバの【TO HOST】端子に接続します。



接続するシリアルケーブルの種類と内部配線図

接続するパソコンの種類に合わせて、下記のシリアルケーブルを使用してください。



・プラグのピン番号

各プラグのピン番号は右記のとおりです。

オモテから見たピン番号



クラビノーバのHOST SELECTスイッチの設定

接続するパソコンの種類によって、クラビノーバのHOST SELECTスイッチを切り替えます。

Windows : 【PC-2】 (ボーレート=38,400bps)

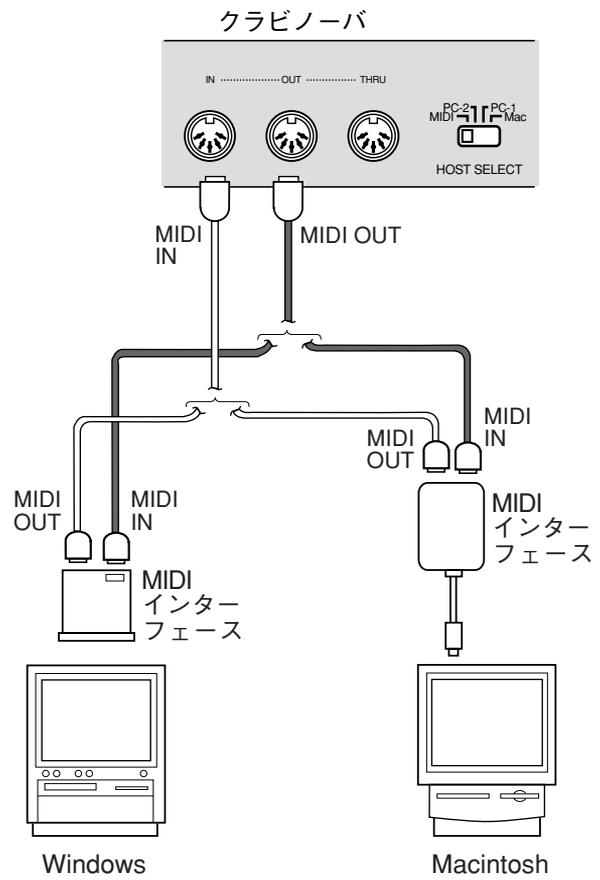
Macintosh : 【Mac】 (ボーレート=31,250bps、1MHzのクロックを使用)

♪ 使用するソフトウェアの種類によって、上記の設定では動作しないものがあります。お使いになるソフトウェアの取扱説明書をよく読んで、適合するボーレートの位置にHOST SELECTスイッチを設定してください。(【PC-1】のボーレートは、31,250bpsです。)

2 MIDIインターフェース機器と、クラビノーバのMIDI端子を使った接続方法

接続方法

MIDIインターフェース機器を通じてクラビノーバのMIDI端子に接続します。
専用のMIDIケーブルを使います。



クラビノーバのHOST SELECTスイッチを【MIDI】に設定します。

3 パソコンのUSB端子と、USBインターフェース機器を使った接続方法

パソコンのUSB端子と、USBインターフェース機器をUSBケーブルで接続します。

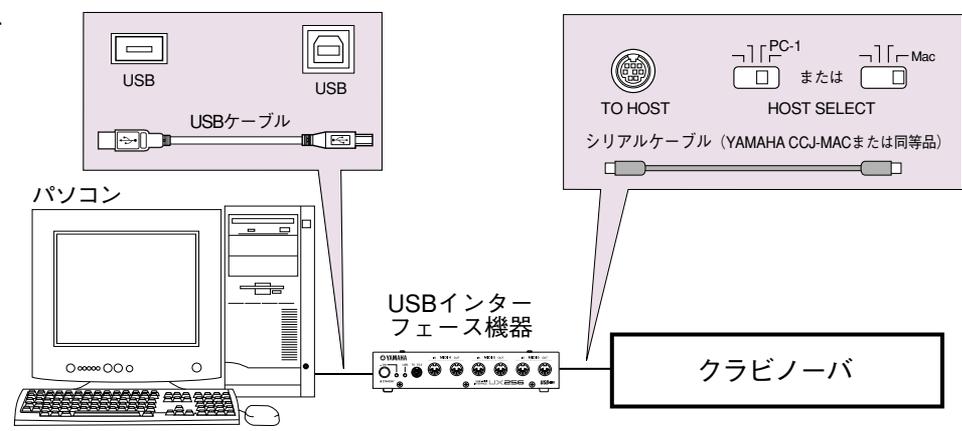
USBインターフェース機器に付属のMIDIドライバーをインストールします。

USBインターフェース機器とクラビノーバをシリアルケーブル(CCJ-MACなど)またはMIDIケーブルで接続します。

詳しくは、USBインターフェース機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

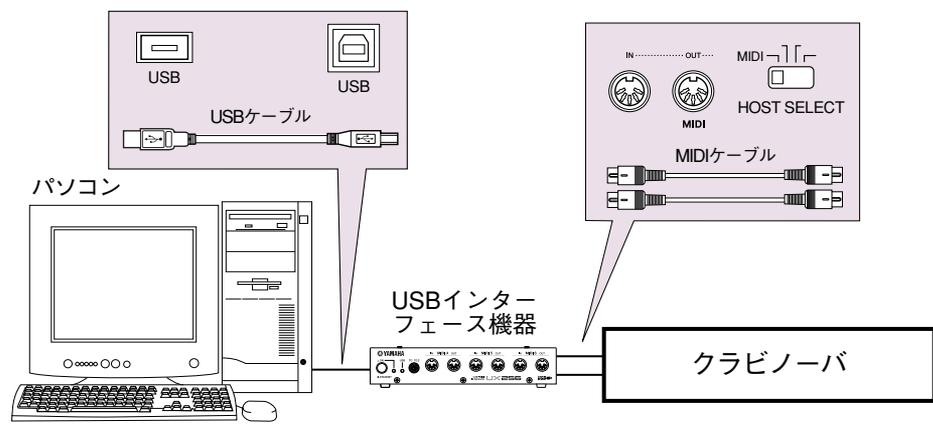
USBインターフェース機器とクラビノーバをシリアルケーブルでつなぐ場合

クラビノーバのHOST SELECTスイッチを【PC-1】または【Mac】に切り替えます。



USBインターフェース機器とクラビノーバをMIDIケーブルでつなぐ場合

クラビノーバのHOST SELECTスイッチを【MIDI】に切り替えます。



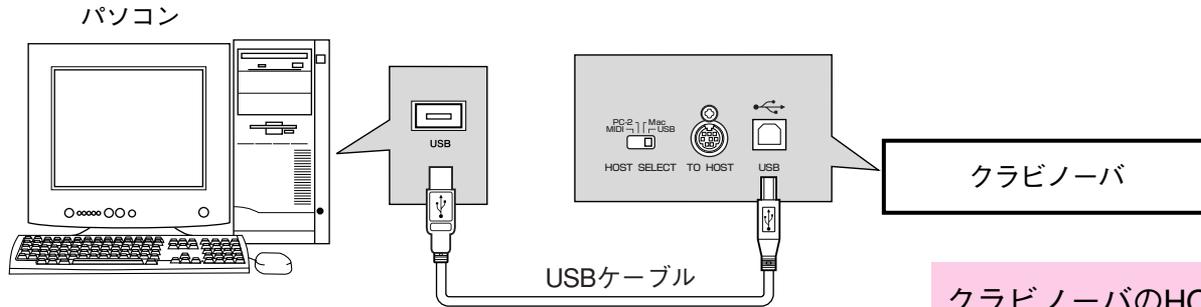
4 パソコンのUSBポートと、クラビノーバの【USB】端子を使った接続方法

パソコンのUSBポートとクラビノーバの【USB】端子を接続します。

パソコンのUSBポートでMIDIの情報を使用できるようにするために、あとで指定のUSB-MIDIドライバー（YAMAHA USB MIDI Driver）をパソコンにインストールする必要があります。[USB-MIDIドライバーについてはこちらをご覧ください。](#)

接続方法

パソコンのUSBポートを、USBケーブルで、クラビノーバの【USB】端子に接続します。



クラビノーバのHOST SELECTスイッチを【USB】に設定します。

♪ USBに関するご注意

- ◆ クラビノーバとコンピューターをUSBケーブルで接続する場合は、ハブを経由せずに直接接続してください。
- ◆ USB-MIDIドライバーが立ち上がった状態で、クラビノーバの電源を入れたり切ったりしないでください。
- ◆ クラビノーバはUSB接続後しばらくしてから通信を開始します。
- ◆ コンピューターの状態によっては、クラビノーバの状態が不安定になることがあります。コンピューターが不安定になるような使い方をしないでください。
- ◆ Windows2000をお使いの場合、コンピューターの起動時にコンピューター側の動作に問題が発生することがあります。そのような場合は、コンピューターの起動時にクラビノーバの電源を入れてください。
- ◆ 以下の状態でクラビノーバの電源オン/オフまたはUSBケーブルの抜き差しをすると、コンピューターのシステムに異常が発生し停止したり（ハングアップ）、クラビノーバの機能が停止したりする恐れがあります。
 - ・ ドライバーインストール中
 - ・ OS起動中または終了途中
 - ・ サスペンド（スリープ）中
 - ・ MIDIアプリケーションが起動している状態
- ◆ 以下の行為をすると、同様にコンピューターがハングアップしたりクラビノーバの機能が停止したりする恐れがあります。
 - ・ 頻繁な電源のオン/オフやケーブルの抜き差し
 - ・ MIDIデータ転送中の省電力（スリープ）モードへの移行、スリープモードからの復帰
 - ・ クラビノーバが電源オンの状態でのケーブルの抜き差し
 - ・ 大量にデータが流れている状態でのクラビノーバの電源オン/オフ、コンピューターの起動、またはドライバーのインストール

Step 4 クラビノーバのTO HOST端子/USB端子を使ってつないだときはパソコンの設定をします

パソコンのシリアルポートとクラビノーバのTO HOST端子、またはパソコンのUSB端子とクラビノーバのUSB端子をつないだだけでは、まだ音を出すことはできません。

パソコンはそのままではMIDIに対応していないので、MIDI情報を扱えないからです。

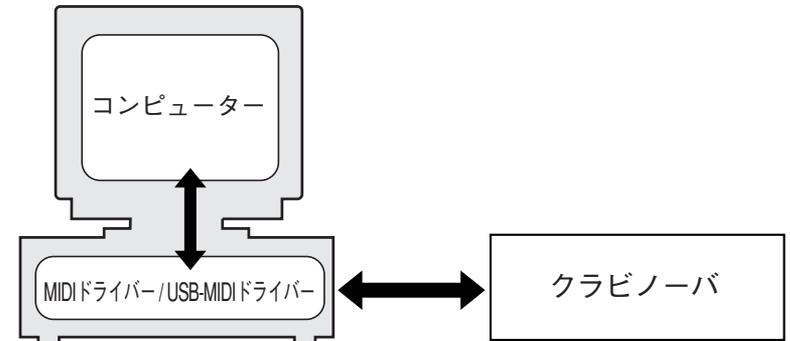
しかし、MIDIの情報は演奏に関する情報を数値に置き替えたものですから、パソコンに理解させることは可能です。

「MIDIドライバー(TO HOST接続) / USB-MIDIドライバー(USB接続)」というソフトをパソコンにインストールすることによって、パソコンが「これはMIDIの情報だな」と理解することができるようになります。

インストールするドライバーは、パソコンの種類によって異なります。

MIDIドライバー/USB-MIDIドライバーとは？

パソコンとプリンターなどの周辺機器をつないだとき、その機器をパソコンから使えるようにするために「ドライバーソフト」というものをインストールしましたね。それと同じように、クラビノーバとパソコンをつないで、MIDIという音楽のデータを扱えるようにするにはドライバーソフトが必要になります。このソフトのことを「MIDIドライバー/USB-MIDIドライバー」といいます。MIDIがクラビノーバとパソコンが共通して認識できる音楽のデータ形式だとすれば、「MIDIドライバー/USB-MIDIドライバーをインストールする」ということは「パソコンでMIDIの情報を扱えるようにするためのしくみを整える」ということです。



MIDIドライバーのインストールと設定について

お持ちの機器やパソコン用音楽ソフトにMIDIドライバーが付属している場合は、それらの機器やソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

また、代表的なMIDIドライバーは、ヤマハホームページなどから入手することができます。

ダウンロード/インストール/設定の方法は下記のページをご覧ください。

「繋げてみよう! 楽器とコンピュータ」

Windows

http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/tunagete/win_seri/step2.html

このページ（STEP2 Setting）の設定が完了すれば、いつでもパソコン用音楽ソフトをお楽しみいただけます。

Macintosh

http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/tunagete/mac_seri/step2.html

このページ（STEP2 Setting）の設定が完了すれば、いつでもパソコン用音楽ソフトをお楽しみいただけます。

USB-MIDIドライバーのインストールと設定について

USB-MIDIドライバーが入っているCD-ROMの取扱説明書をご覧ください。

インストール/設定の方法は下記のページでも紹介されています。

「繋げてみよう！楽器とコンピュータ」

Windows

http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/tunagete/win_usb/step2.html

このページ（STEP2 Setting）の設定が完了すれば、いつでもパソコン用音楽ソフトをお楽しみいただけます。

Macintosh

http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/tunagete/mac_usb/step2.html

このページ（STEP2 Setting）の設定が完了すれば、いつでもパソコン用音楽ソフトをお楽しみいただけます。

前のページ

目次

MIDIってなに？

クラビノーバ+
パソコンで
なにができるの？

どうやって
つなぐの？

わからない
言葉があったら
こちらへ

役立つ
インターネットホーム
ページ

楽しさが広がる
ソフトウェアの
紹介

次のページ

わからない言葉があったらこちらへ

用語	解説
DTM	Desk Top Musicの略で、デスクトップとは「机の上で」という意味です。パソコンを使って机の上で音楽を楽しむことです。
GMシステムレベル1	「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やミュージックデータには、「GM」マークがついています。
MIDI	Musical Instrument Digital Interfaceの略で、電子楽器間や、電子楽器とパソコンとの間で、演奏データや命令を伝達しあうための、データ形式に関する世界共通の規格です。
MIDIインターフェース	電子楽器間は専用のMIDIケーブルでつなぎますが、一般のパソコンにはこのケーブルをつなぐ端子がないため、MIDIケーブルをつなぐための変換器が必要になります。この変換器がMIDIインターフェースです。
MIDI音源	MIDI音源とは、さまざまな音色が入った箱のようなものです。MIDI演奏情報は、MIDI音源に伝わって、MIDI音源が鳴ることで音になります。一般にMIDI音源はさまざまな音色を持っています。
MIDIキーボード	MIDI信号を送受信できる鍵盤楽器です。クラビノーバのほかに、シンセサイザーやエレクトーン、ポータブルキーボードなどがあります。鍵盤を弾いたときのタッチの強さも検知し、パソコンに送ります。
MIDIケーブル	電子楽器どうしのMIDI端子間、またはパソコンに設置したMIDIインターフェースのMIDI端子間とつなぐための専用ケーブルです。

用語	解説
MIDI端子	MIDI信号を送受信するための端子。「IN」「OUT」「THRU」の3種類の端子があります。MIDIケーブルを接続するときは機器Aの「OUT」から機器Bの「IN」へ、機器Aの「IN」から機器Bの「OUT」へとつなぎます。「THRU」は「IN」から入ってきた信号を、そのまま別の機器へ送りたい場合に使用します。
MIDIチャンネル	テレビのチャンネルを合わせれば、合わせたテレビ局の放送を受信できるのと同じように、MIDIでやりとりされる情報にもチャンネルがあります。送信側と受信側のチャンネルが合えば、その情報を処理することができるわけです。MIDIでは1から16まで（クラビノーバのモデルによっては、1から32まで）のチャンネルを扱えるようになっています。
MIDIドライバー	パソコンでMIDI信号を扱えるようにするために必要なパソコン用のソフトウェアです。パソコンのシリアルポートとクラビノーバのTO HOST端子を使って接続した場合は、このドライバーをパソコンにインストールする必要があります。
OMS	Opcode社より提供されているMacintosh用MIDIドライバーです。
RS-232C	シリアルポートの一種です。
RS-422	シリアルポートの一種です。
TO HOST端子	ケーブル1本でパソコンとつなぐことができる端子。この端子を持つクラビノーバは、内部にMIDIインターフェースを搭載しています。
USB	Universal Serial Busの略で、パソコンと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。従来のシリアルポートとの接続時よりも、はるかに高速なデータ転送（12Mbps）が可能になります。また、パソコンの電源を入れたまま周辺機器との接続ができます。

用語	解説
USBケーブル	パソコンとクラビノーバのUSB端子間、またはパソコンとUSBインターフェース機器のUSB端子間をつなぐためのケーブルです。
USB端子	ケーブル1本でパソコンとつなぐことができる端子。この端子を持つクラビノーバは、内部にMIDIインターフェースを搭載しています。
USB-MIDIドライバー	パソコンでMIDI信号を扱えるようにするために必要なパソコン用のソフトウェアです。パソコンのUSBポートとクラビノーバのUSB端子を使って接続した場合は、このドライバーをパソコンにインストールする必要があります。
XG	<p>「XG」は、音色配列に関する「GMシステムレベル1」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺環境にも対応させ、豊かな表現力とデータの継続性を可能とした、ヤマハの音源フォーマットです。</p> <p>「XG」では、音色の拡張方式やエディット方式、エフェクト構成やタイプなどを規定して、「GMシステムレベル1」を大幅に拡張しました。「XG」に対応した音源やミュージックデータには、「XG」マークがついています。</p>
インストール	ソフトウェアなどをパソコンのハードディスクに組み込んで使用できる状態にすること。
クロック	パソコンは、周期的に発生されるデジタル信号に合わせてすべての処理を行いません。このデジタル信号を作り出す電子回路をクロックといいます。
シリアルインターフェース	データを順番に、連続的に送信するタイプの通信形態。
シリアルケーブル	シリアルポートの接続に使うケーブル。 接続するパソコンの種類に合わせて、専用のケーブルが必要です。
シリアルポート	シリアルインターフェースの接続口(ポート)です。シリアルポートには、RS-232C、RS-422、USBがあります。

用語	解説
ダウンロード	ネットワークを通じて、他のパソコン上にあるデータやプログラムを自分のパソコンに取り込むことです。
ハードディスク	データを記憶する装置の一種。大量のデータを高速に読み書きすることができます。
ボーレート	データの伝送速度の値です。 単位：bps(bit per second)
モデムポート	パソコンのデジタル信号を音声信号に変換し、電話回線や無線回線を経由して、パソコンどうしが通信できるようにするための接続口(ポート)です

役立つインターネットホームページ

「初級みでい講座」

<http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/syokyu/index.html>

「MIDI」についての関連情報をわかりやすく説明しています。

「繋げてみよう! 楽器とコンピュータ」

<http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/tunagete/index.html>

楽器とコンピュータの繋ぎ方に加えて、インターネットで公開されている音楽の活用法も紹介しています。

「OMSを使ってみよう」

<http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/oms/index.html>

Macと音楽用ソフトの間を動いているOMS (Open Music System) について、詳しく紹介しています。

「早わかり! Windows MIDI Driver 講座」

<http://www.yamaha.co.jp/xg/reading/driver/index.html>

コンピュータとMIDI楽器をつなげて音楽を楽しみたい、ケーブルをつないだのに音が鳴らない、という方のためにドライバについてやさしく解説しています。

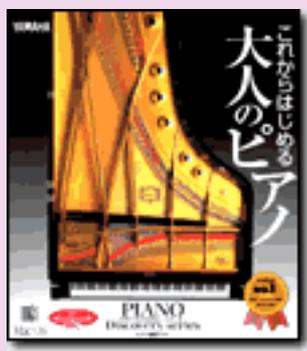
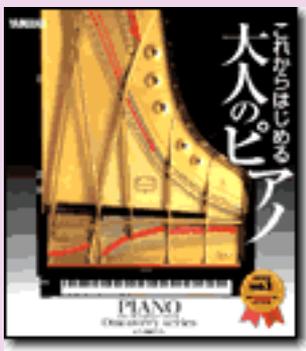
楽しさがひろがるソフトウェアの紹介

クラビノーバとパソコンをつなげることによって使うことができる、パソコン用のソフトウェアを紹介します。

「これからはじめる大人のピアノ」

Windows版
(レッスンソフト、
MIDIドライバー付属)

Macintosh版
(レッスンソフト、
Macintosh用MIDI
ドライバー (OMS) 付属)



譜面が読めない人でも、音声と画像で、1人でもわかりやすくピアノ学習ができるソフトです。

詳しくは、(株)ヤマハミュージックメディア

<http://www.ymm.co.jp/index.html>

をご覧ください。

ヤマハの代表的なシーケンスソフトのご紹介

「SOL」 Windows版

「SOL」を詳しくお知りになりたい方は

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/p/soft/sol/index.html>

をご覧ください。

なお、これらソフトウェアは主な「コンピューターミュージック商品を扱っているコンピューターショップ」、主な「ヤマハ特約楽器店」で購入することができます。

また、「これからはじめる大人のピアノ」は(株)ヤマハミュージックメディア

<http://www.ymm.co.jp/index.html>でも

お買い求めいただけます。